



料 親と子の食育教室
理って楽しいね!

7月30日に保健福祉総合センター、31日に社会福祉センターで『親と子の食育教室』が行われました。

献立は、おにぎらず、キャロットポタージュ、カップサラダ、スイカの4品。いつもは子ども用包丁を使いますが、この日は普通の包丁を使って野菜などを切りました。大人から教わりながら、薄切りにも挑戦。時間はかかりましたが、薄く切ることができ、子どもたちからは、「料理教室楽しい」という声がたくさん聞こえました。

乗 2015本の森フェスティバル
ってみたいな働く車

7月25日と26日の2日間、『2015本の森フェスティバル』が情報館で開催され、親子連れなどでにぎわいました。

今年のテーマは『くじらくん、のりものでGO!』。消防車やパトカーなどの働く車の展示には、行列ができるほどの大人気。26日に行われた古本市では、定価の9割引きで販売されていることもあり、袋いっぱいにも本を購入する人も。

毎年恒例のフリーマーケットやぬり絵コンクールなど、さまざまなイベントが開催されました。



消 ミニ消防体験
防士になりきりました

8月19日、コアぼんと・きらくの消防訓練にあわせ、遊びのひろば『ミニ消防体験』が行われました。

訓練は火災が起きたことを想定し、子どもと保護者あわせて32人が参加しました。避難訓練の後は、屋外で訓練用の消火器を使用した消火訓練。大人が体験した後は、子どもも保護者と一緒に挑戦していました。

最後は楽しみにしていた消防車への乗車体験。子ども用の防火服を着て、消防士になりきり、記念撮影をしました。



厚 厚岸観光スポット巡り
岸の知識を深めました

8月2日、厚岸観光協会と町主催の町民を対象とした『厚岸観光スポット巡り』が開催され、24人が参加しました。

水鳥観察館や町営牧場、スターファームなどの見学や、コンキリエでおぼろ昆布作り体験を行いました。

おぼろ昆布作り体験では、厚岸で採れる昆布についての説明を聞いた後、『ねこ足昆布』を使用して挑戦しました。削る作業は難しく、慣れるまでに時間がかかりましたが、参加者は、自分で削った厚岸の昆布のおいしさを味わいました。



短 盆踊り大会
い夏の一夜を楽しむ

8月15日、16日の2日間、松葉憩いの広場で厚岸町商店会主催の『盆踊り大会』が開催され、たくさんの町民が集まり、にぎわいをみせました。

15日は、子ども餅まき大会の後、子ども盆踊りが行われ、色とりどりの浴衣をまとった子どもたちが元気に踊りました。

続いて行われた大人盆踊りでは、そろいの浴衣姿や仮装して踊るグループも。大勢の参加があったため、やぐらを囲んで二重の輪になって踊り、厚岸の短い夏の夜を楽しみました。

16日にも子ども盆踊りが開催され、ミニ花火大会も行われました。

み ふらっとニコニコ広場2015
んな笑顔で交流しました

障がいの有無や年齢を問わず、気軽に集まって交流することを目的に、社会福祉協議会主催の『ふらっとニコニコ広場2015』が、8月2日に社会福祉センターで開催されました。

縁日コーナー、生製品の販売、和太鼓や吹奏楽の演奏、介護や障がいに関する相談ブースや福祉用具ブースがあり、晴天のもと、大人から子どもまでたくさんの人たちでにぎわいました。特に、ダンボール迷路は子どもたちに人気で、順番待ちの列ができるほどでした。



地 サオマエコンプ寄贈
元の昆布をたくさん食べて

8月10日、厚岸漁業協同組合(川崎一好代表理事組合長)が、地元昆布のおいしさを知ってもらい、より多く食べてもらおうと、サオマエコンプ80*とアツバコンプ20*を町に寄贈しました。

川崎代表理事組合長は「今年のサオマエコンプは実入りが良い。たくさんの人に食べてほしい」と話していました。

平成9年から毎年寄贈しており、保育所や学校給食センター、町立病院、特別養護老人ホームで食材として活用します。

